キャリア教育とは

・将来の夢をもたせること…？
・将来なりたい職業を見つけさせること…？
・「〇〇高校、〇〇大学へ行きたい」…？
・様々な職業について学ばせること…？



・職場体験活動のみをもって、キャリア教育としていないか。

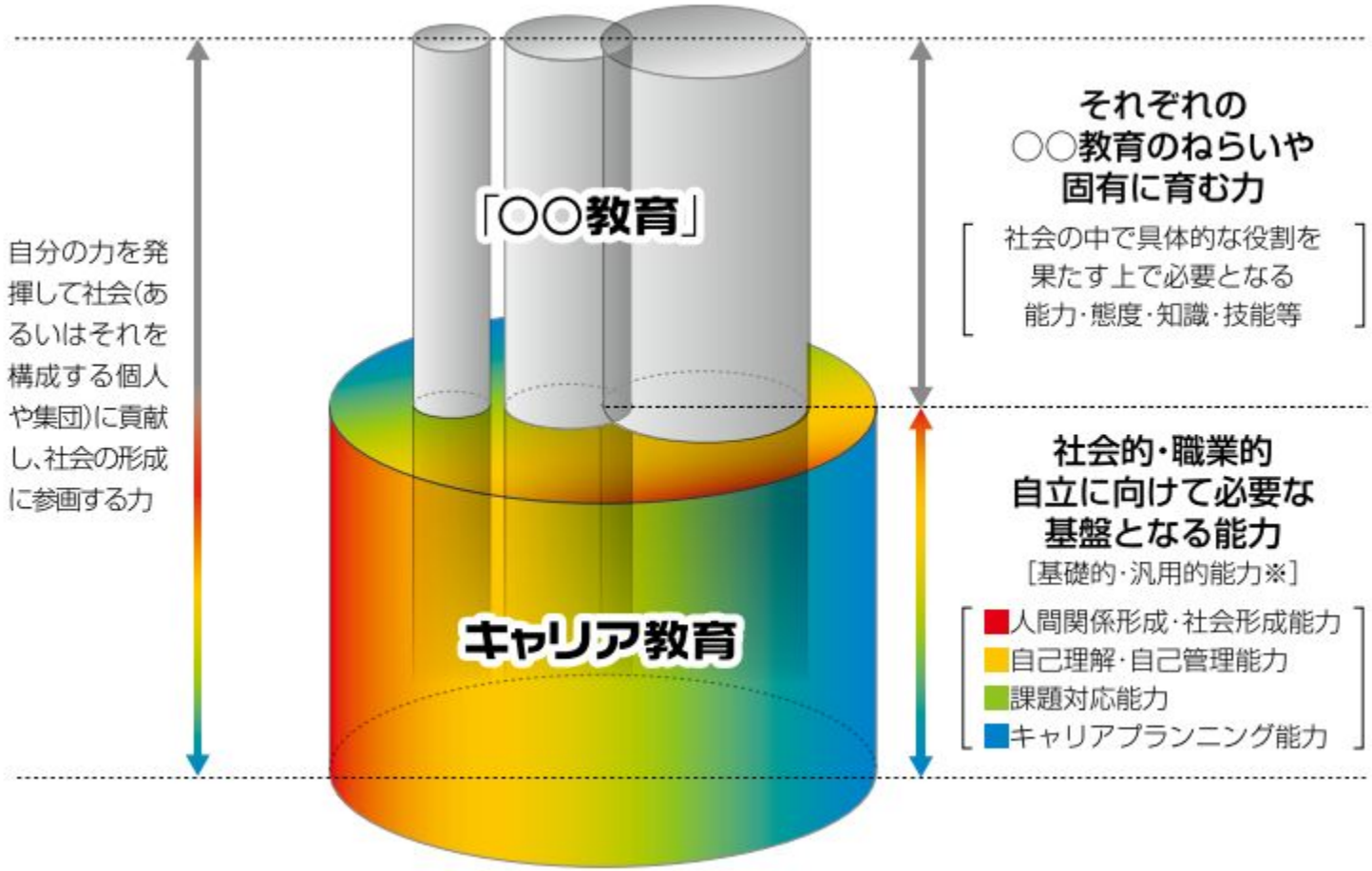
・社会への接続を考慮せず、進学のみの指導を行っているのではないか。

・職業を通じて将来の社会を創り上げていくという視点に乏しいのではないか。

・将来の夢を描くことばかりに力点が置かれ、働くことの現実や必要な資質・能力の育成につなげていく指導が軽視されているのではないか。

（中教審　答申　H28.12）

キャリア教育とは



(「キャリア教育をデザインする『今ある教育活動を生かしたキャリア教育』」国立教育政策研究所)

キャリア教育とは

人が、
生涯の中で様々な役割を果たす過程で、
自らの役割の価値や
自分との関係を見出していく
連なりや積み重ね

➡ キャリア

社会の中で
自分の役割を果たしながら、
自分らしい生き方を実現していく過程

➡ キャリア発達

（中教審　答申 H23.1）

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、
必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、
キャリア発達を促す教育

こどもが 自分らしい生き方を実現していく力を育む教育

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

キャリア教育を通して育てる4つの基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力

→人とつながり、協力する力

自己理解・自己管理能力

→自分を知り、コントロールする力

課題対応能力

→課題を見つけ、やり抜く力

キャリアプランニング能力

→将来や生き方を考える力

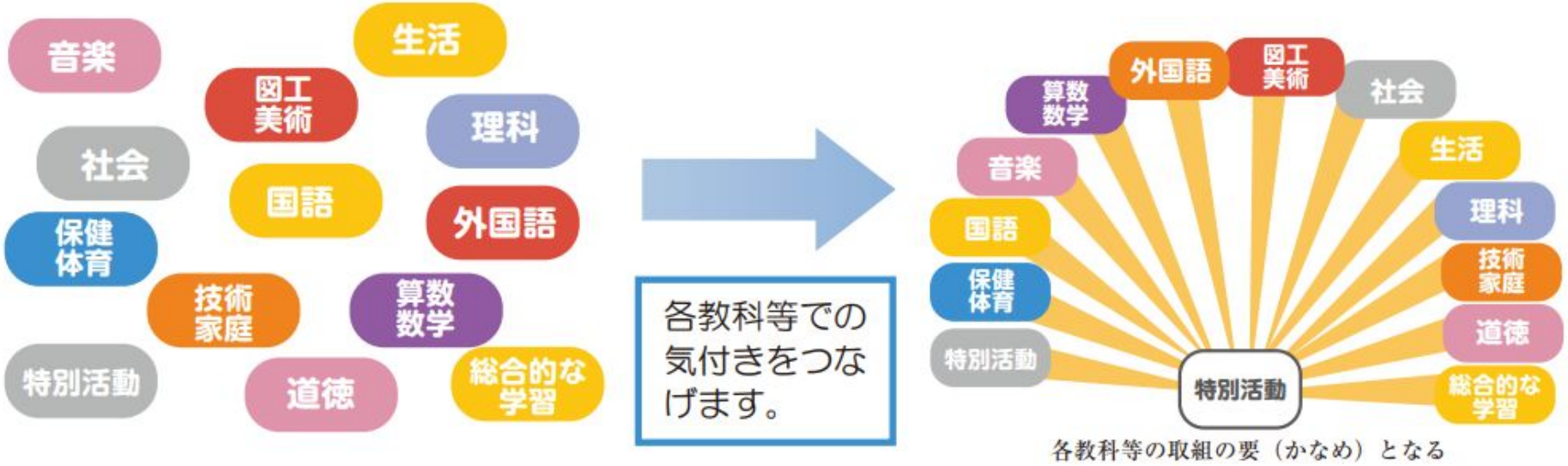
こどもたちの成長を、
4つの能力のフィルターを通して見る

⇨ キャリア教育の視点

キャリア教育の「要」

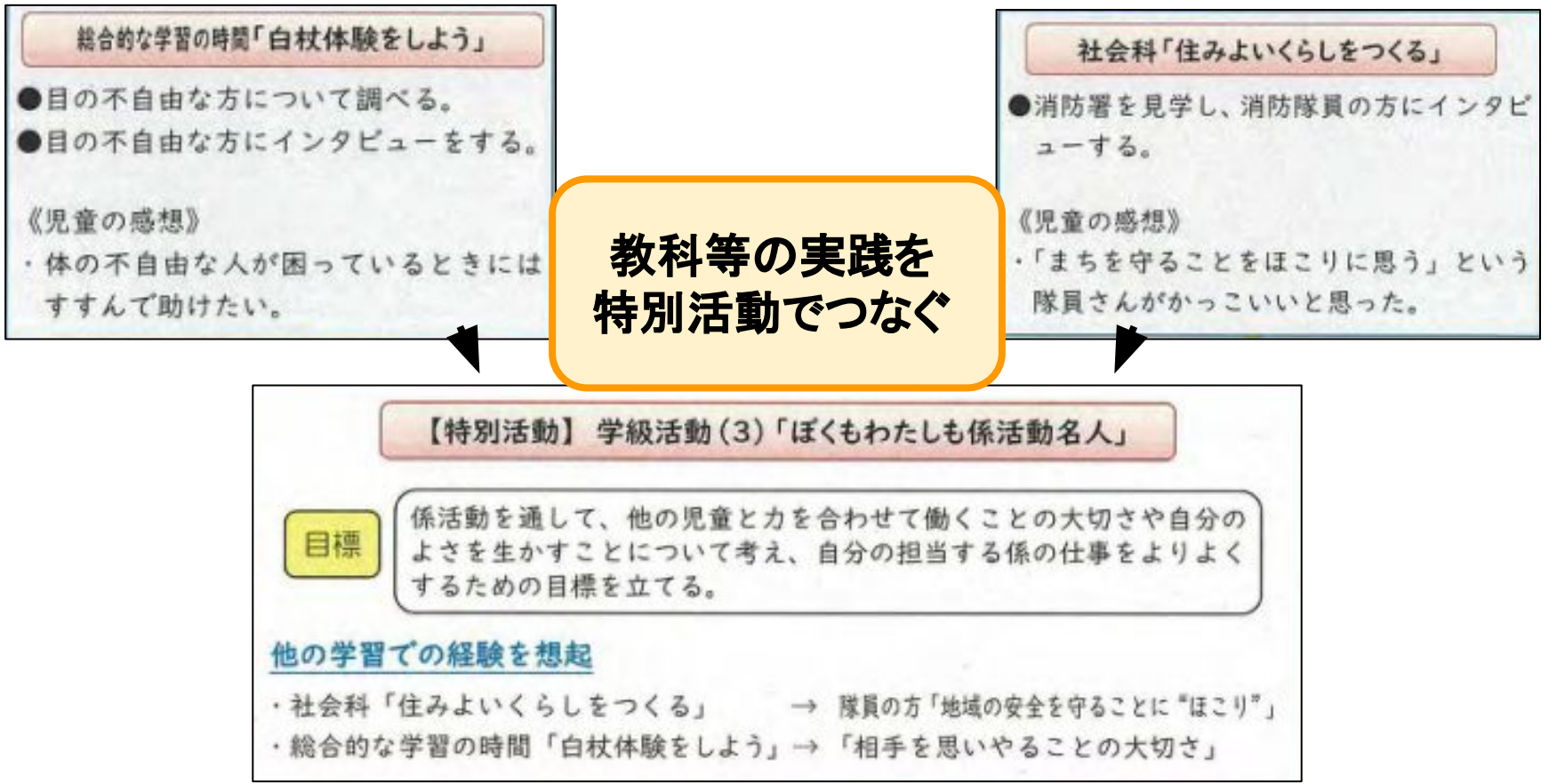
児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、**特別活動を要**としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

（学習指導要領 H29）



（「特別活動を要としたキャリア教育指導の手引」兵庫県教育委員会　義務教育課

キャリア教育の「要」

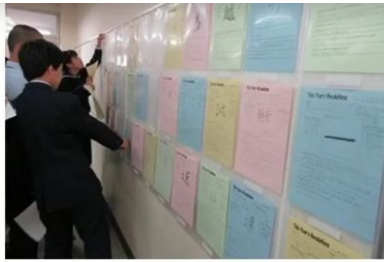


（「9年間の学びをつなぐキャリア教育実践事例集」兵庫県教育委員会

キャリア・パスポート

・生活科や理科の観察
・総合的な学習
・運動会、音楽会等学校行事
・校外学習、修学旅行
・環境体験学習、自然学校
・節目のめあてやふりかえり
・自己紹介カード　など





「はなまる」をつけて、コメントを書く。

⇩

学期ごとに綴じていき、新たに作り書いていく。

⇩

年度末、こどもに返却する。

引き継いでいく

キャリア・パスポート

（「キャリア・パスポート」筑波大学　藤田　晃之　教授））

キャリア・パスポート

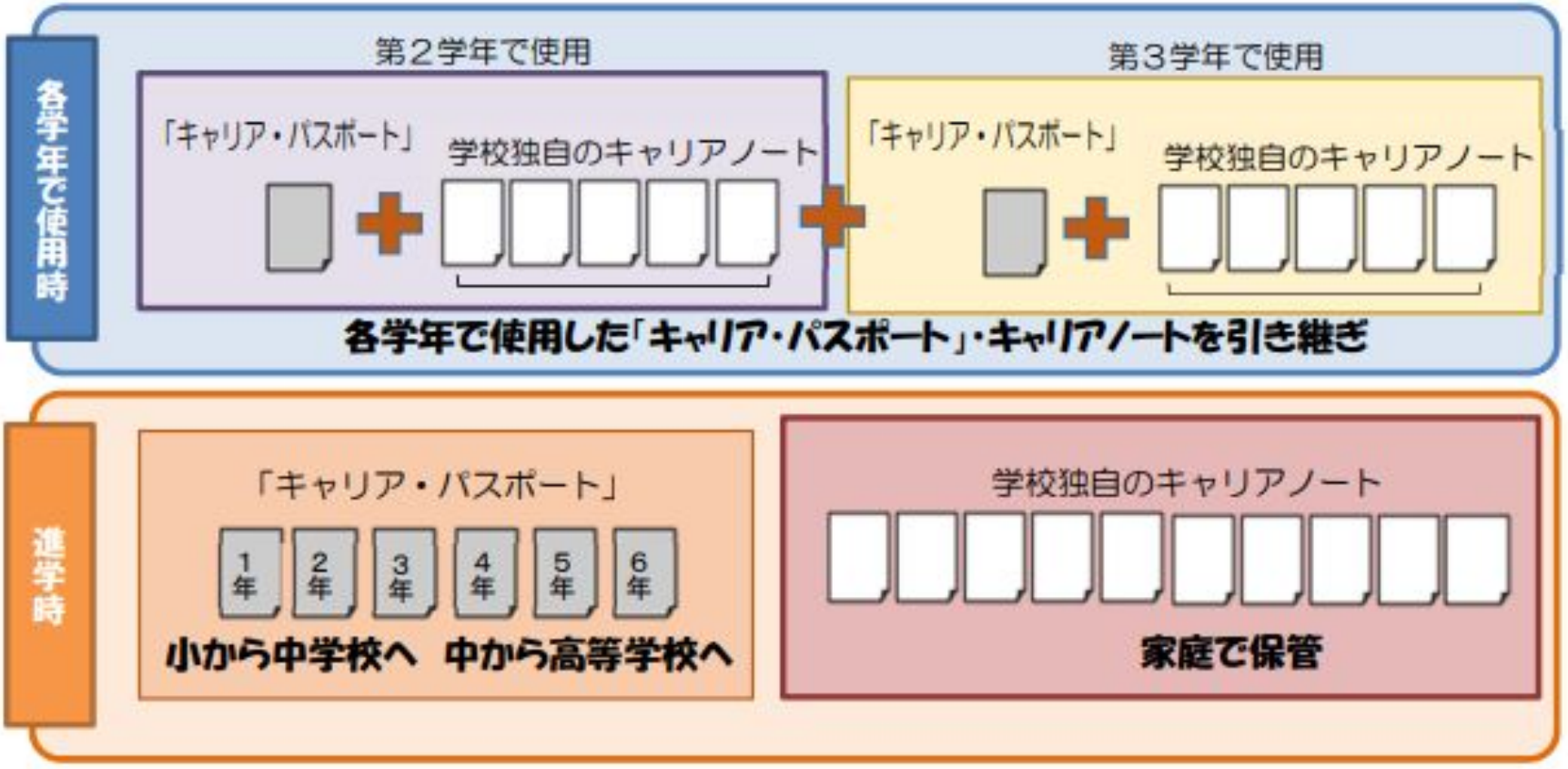
児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

（「学習指導要領」H29）



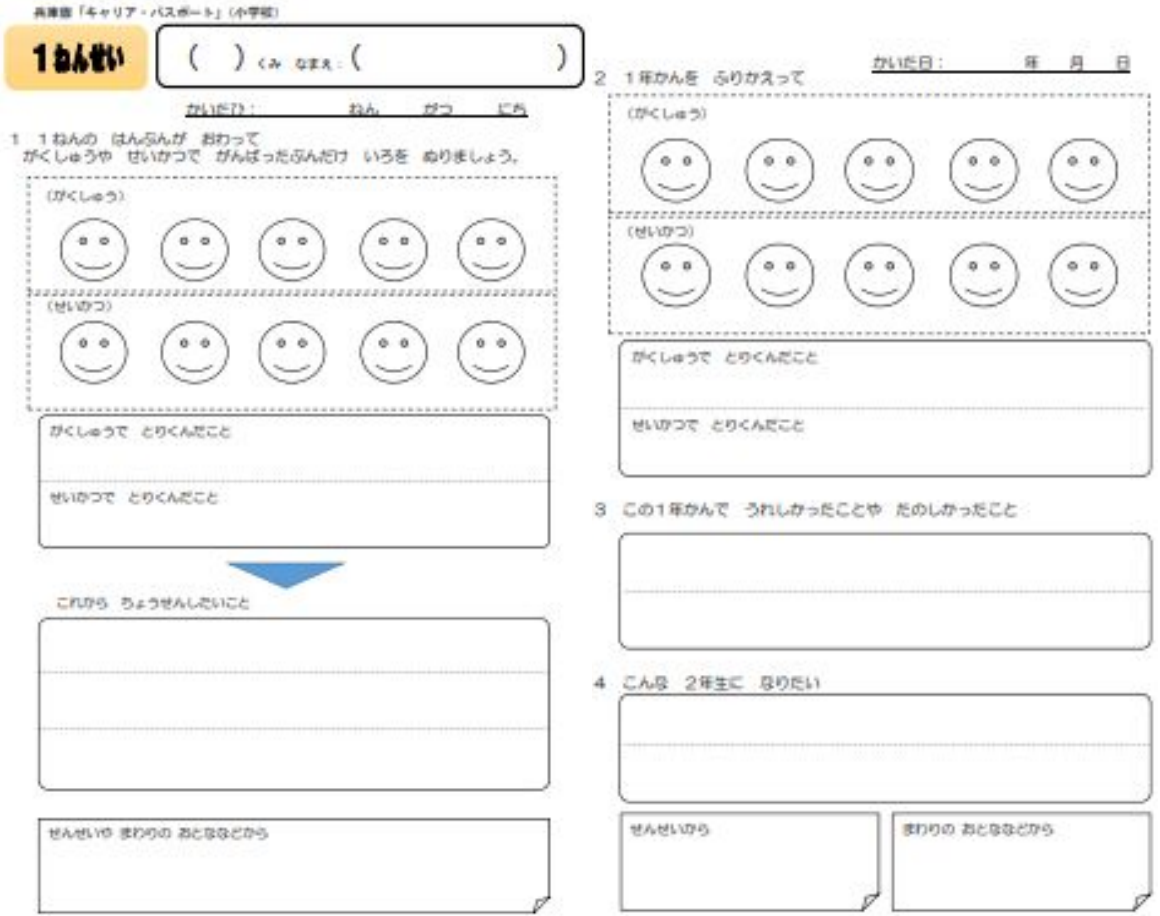
（「兵庫版『キャリア・パスポート』」兵庫県教育委員会

キャリア・パスポート



（「兵庫版『キャリア・パスポート』指導資料」兵庫県教育委員会）

キャリア・パスポート


兵庫版「キャリア・パスポート」（小学校）

1ねんせい　（　）くみ　なまえ（　）

かいた日：　ねん　がつ　にち

1　1ねんの　はんぶんが　おわって
がくしゅうや　せいかつで　がんばったぶんだけ　いろを　ぬりましょう。

（がくしゅう）

（せいかつ）

がくしゅうで　とりくんだこと

せいかつで　とりくんだこと

これから　ちょうせんしたいこと

せんせいや　まわりの　おとななどから

2　1年かんを　ふりかえって　かいた日：　年　月　日

（がくしゅう）

（せいかつ）

がくしゅうで　とりくんだこと

せいかつで　とりくんだこと

3　この1年かんで　うれしかったことや　たのしかったこと

4　こんな　2年生に　なりたい

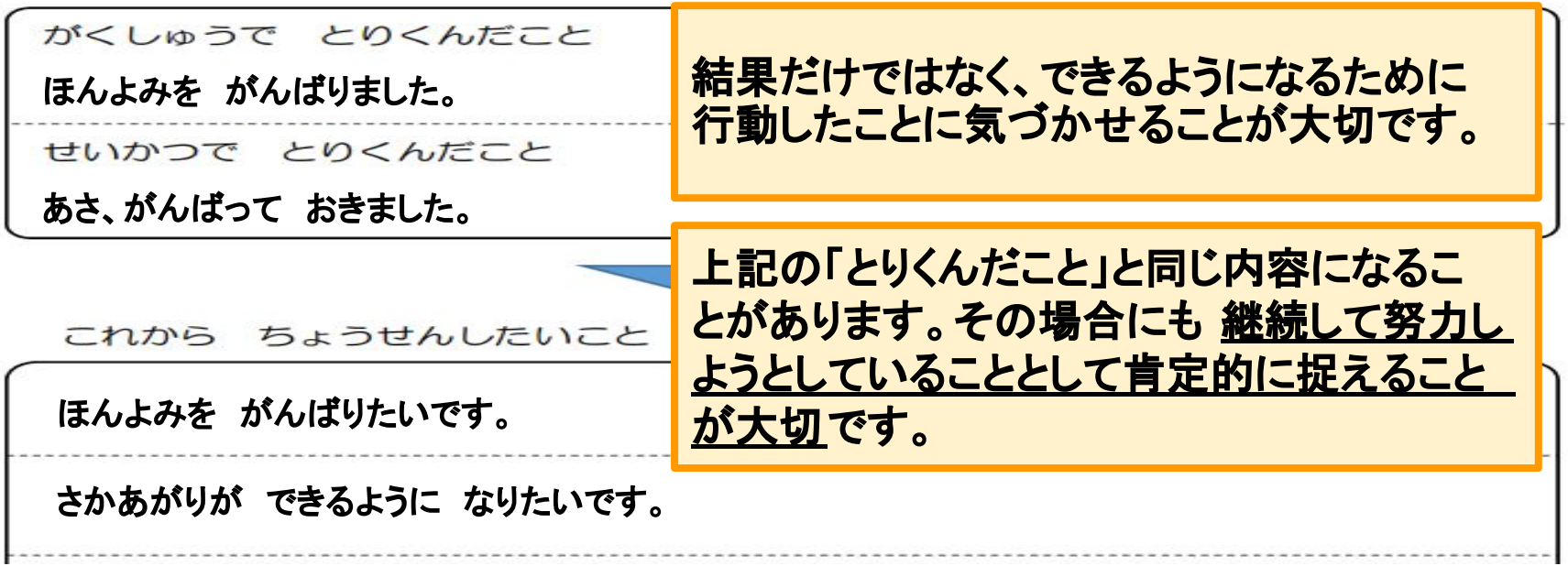
せんせいから

まわりの　おとななどから

- 書くめやすの時期が示されている
- 書くポイントが示されている
- 先生や保護者のコメントの書き方が示されている

（「兵庫版『キャリア・パスポート』」兵庫県教育委員会

キャリア・パスポート



結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

上記の「とりくんだこと」と同じ内容になることがあります。その場合にも <u>継続して努力しようとしていることとして肯定的に捉えることが大切</u>です。

<u>先生や保護者等が児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝える</u>ことで、児童が自らの良さや可能性を見出したり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。

キャリア教育

兵庫県教育委員会　義務教育課

「キャリア教育に関すること」

https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/gimu/career



文部科学省

「キャリア教育」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm

